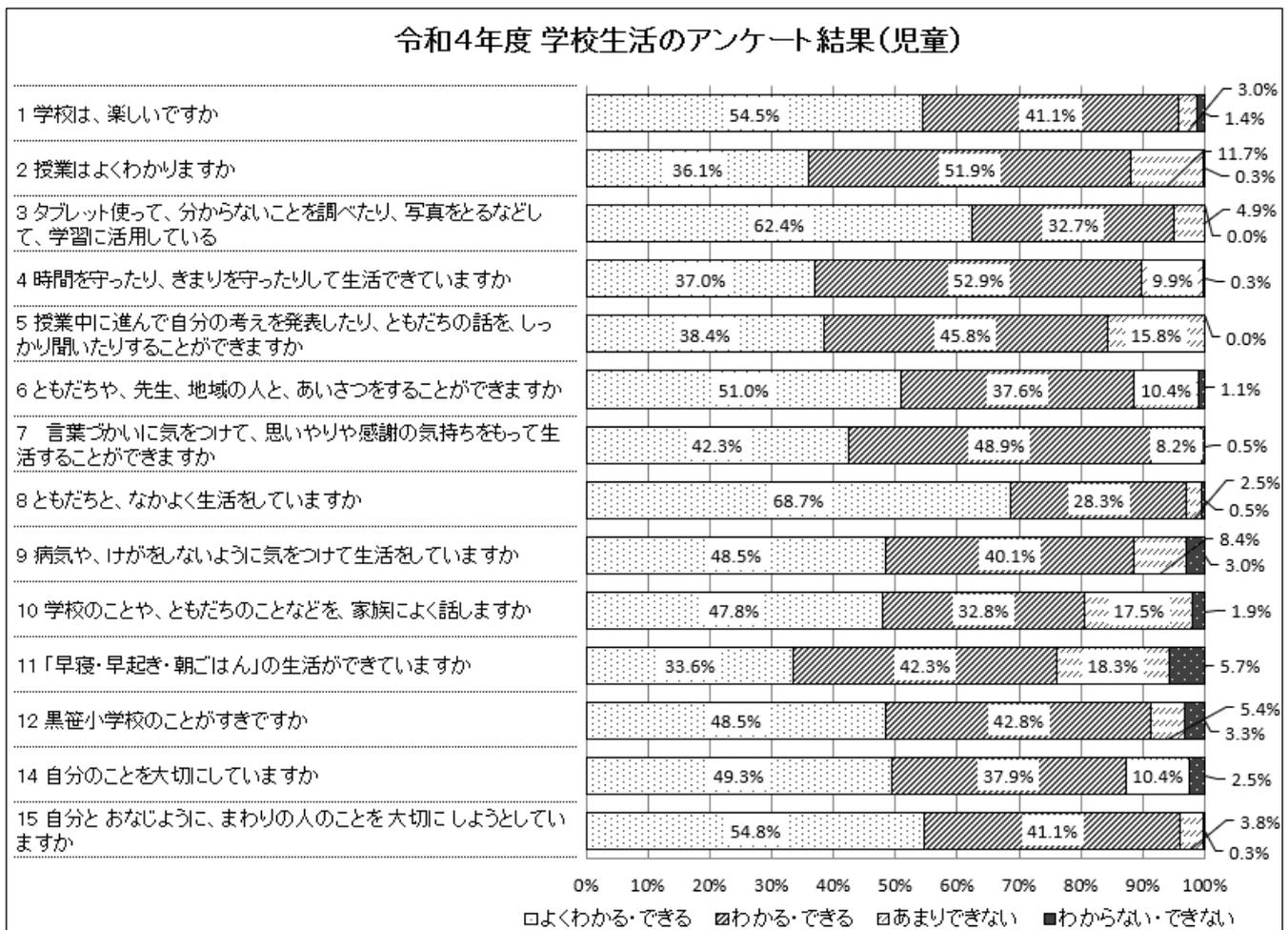


令和4年度学校評価アンケートの結果について

みよし市立黒笹小学校

学校評価アンケートは、本校の教育活動を振り返り、子どもたちの学習活動や生活習慣など家庭・地域との連携を一層深め、子どもたちがより良い生活を送れるよう学校運営の改善と発展を目指すものです。次のとおり、今年度のアンケート結果をお知らせいたします。ご意見・ご感想については、いつでも学校にお寄せいただければ幸いです。

1 児童自己評価アンケートより



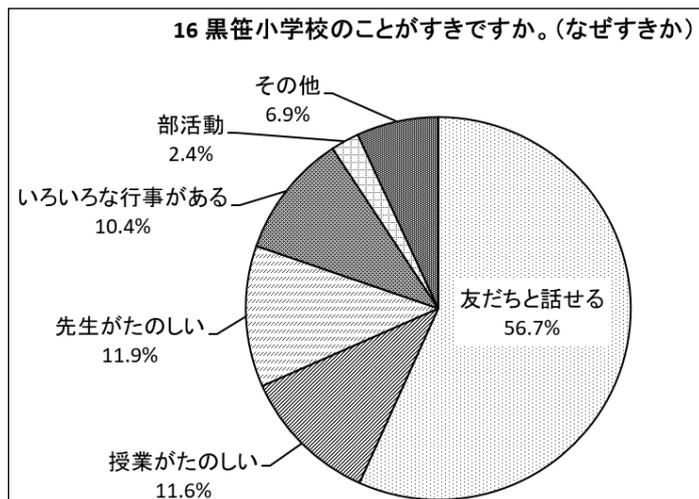
○「問1：学校は楽しい（95.6%）、問8：友達と仲良く生活をしている（97.0%）、問15：自分と同じように周りの人のことを大切にしている（95.9%）」と答えている子どもが多い。

○学校が好きな理由は、「友達と話せる（56.7%）」と答えている子どもが多い。

子どもたちにとって友達との関わりがとても大切なことだと分かります。

平成 28 年度から 3 年間、三好丘中学校区で人権教育の研究を進めました。現在もその取組を継続しています。全校が集まっての人権集会は行えなかったものの、6 月と 12 月に「にこにこウィーク」を設定しました。各委員会で工夫を凝らした取組やイベントを行ったり、学年ごとに「にこにこ道徳」や「にこにこの輪（学年間交流）」を実践したりしました。こうした取組を積み重ねることで、自分と同じように周りの人のことを大切にしていると実感できる子が増えたのだと考えます。

今後も、子どもたち同士の関わりを大切にした教育活動を進めてまいります。



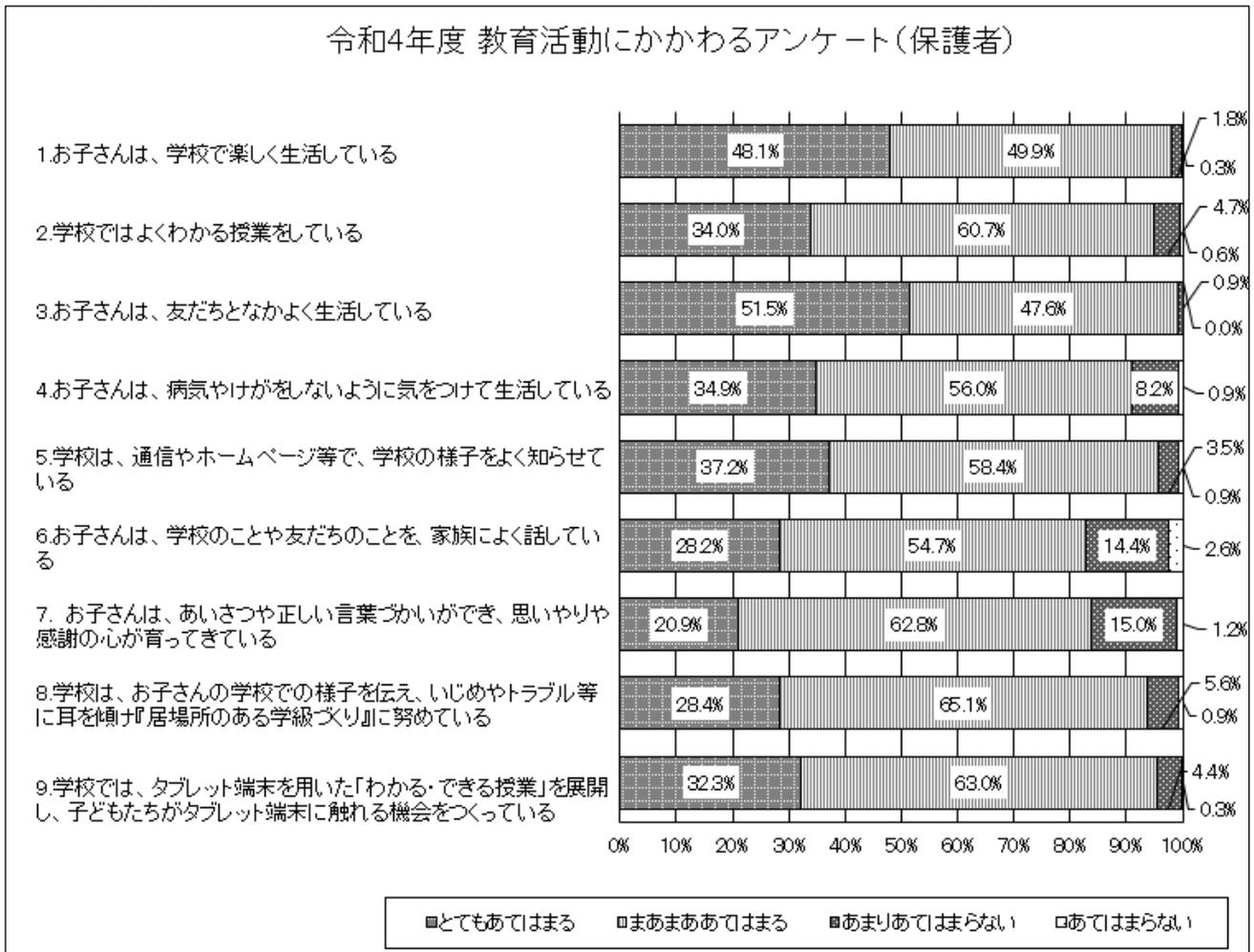
○「問 3：タブレット端末を使って、分からないことを調べたり、写真を撮ったりして、学習に活用している（95.1%）」と答えている子どもが多い。

GIGA スクール構想の下、1 人 1 台端末が整備され 2 年が経ちます。私たち教員の研究テーマにも ICT 機器の活用を盛り込み、有効な活用法を模索しながら授業づくりを進めてきました。子どもたちも、学習の場でタブレット端末を活用する機会が増え、このような結果につながったと考えます。今後も、タブレット端末の効果的な活用について研究を進め、個別最適な学びと、協働的な学びの実現に努めます。

▽「問 5：自分の考えを発表したり、友達の話をしっかり聞いたりすることができる」「問 10：学校のことや友達のことを家族によく話す」「問 11：早寝・早起き・朝ごはんの生活ができている」に対しての子どもたちの評価は、他の項目に比べてやや低い。

一人一人の思いを大切に、聞き合い、考え合う中で、自らの思いを伝えることができる子どもをめざして日々の授業に取り組んでいますが、まだまだ十分ではありません。今後も、仲間の考えを自分と比べながらよく聞き、考えを再構築したり意見を交わし合ったりすることで、互いに学び合うことができるよう研鑽してまいります。生活習慣の確立につきましては、ご家庭のご協力がなくては改善できません。「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に、学校でも指導していきますが、ご家庭でも引き続きのご協力をお願いいたします。

2 保護者アンケートより



○どの問いに対しても、高い評価をいただいています。特に次の5つの項目に対しては、高い評価をいただいています。

問1 「お子さんは学校で楽しく生活している」(98.0%)

問2 「学校ではよく分かる授業をしている」(94.7%)

問3 「お子さんは友達と仲良く生活している」(99.1%)

問5 「学校は、通信やホームページ等で、学校の様子をよく知らせている」
(95.6%)

問9 「学校では、タブレット端末を用いた『わかる・できる授業』を展開し、
子どもたちがタブレット端末に触れる機会をつくらせている」(95.3%)

学校が楽しい場所であるためには、家庭での働きかけが大切のことです。今後も、保護者の皆様のご協力をいただきながら、学校が子どもたちにとって楽しく友達と磨き合える場所であり、一人一人の居場所のある学級づくりを目指して取り組んでまいります。また、通信やホームページ等で、子どもたちの学校生活の様子がタイムリーにお伝えできるよう心がけます。

▽次の項目については、他の質問と比べ「あまりあてはまらない」や「あてはまらない」と答えている方がやや多い。

問6 「お子さんは、学校のことや友達のことを、家族によく話している」

(82.9%)

問7「お子さんはあいさつや正しい言葉遣いができ、思いやりや感謝の心が育ってきている」(83.7%)

児童アンケートの結果でも、「学校のことや友達のことなどを、家族によく話しますか」(80.6%)、「友達や先生、地域の人とあいさつをすることができますか」(88.6%)と、ほぼ同様の傾向でした。学校生活のことを家庭で話さないと不安に感じることもあると思います。そんな時は、遠慮なく学校へお電話をいただけますと幸いです。

何をどうすることが相手を思いやり感謝の気持ちを表したりすることになるのか、私たち教職員も範を示しながら、子どもたちと接してまいります。

《自由記述欄より》

<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ楽しさを感じられる授業への感謝 ・子どもに親身になって接している担任に感謝 ・運動会、マラソン大会等、体力づくりに力を入れていることへの感謝 ・通信をきっかけに家族の会話ももてる ・いじめをなくすため、児童理解を深める ・部活動がなくなってしまうことへの不安 ・学校教育目標「未来を切り拓く」について、どのような取組をしているのか ・授業で理解できなかった内容を学び直す機会の設定 ・長期欠席中のオンライン授業の推進 ・できるようになったこと、がんばったことを認める教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科担任制に対する不安 ・教科書、ドリルの持ち帰りの徹底 ・理解度や習熟度に対応した教育活動の推進 ・SEL教育の推進 ・現在の社会、地域に合った運営への移行 ・元気よく挨拶できる子の育成を要望 ・困っている子を支えられる子の育成を要望 ・人を思いやる人間性の育成を要望 ・女子トイレで話をしていると自由に使えない ・階段、廊下等の清掃活動の充実 ・担任によって子どもの学ぶ意欲が変化する ・百人一首や作文の指導を家庭任せにしないでほしい ・校外学習を増やしてほしい
--	--

○ 記述欄には、教職員への励ましや前向きなご意見・ご要望をいただきありがとうございました。

その一部を上に掲載しております。いただいたご意見・ご要望については、子どもたちのため、よりよい学校教育活動のために検討してまいります。また、検討した内容については、新年度の教育活動説明資料にてお伝えできればと考えております。今後もお気付きの点がありましたら、いつでもお伝えください。

これからも、学校、家庭、地域が連携して子どもたちを守り、育てていきたいと思っております。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。アンケートへのご協力ありがとうございました。